

- 11/20(土) みんなのおはなし会“よむよむ” → 申込 11/13(土)～
おはなし会と工作 (4歳～小学生向け 定員8人)
①午前10:00～10:30 ②11:00～11:30
- 11/26(金) 赤ちゃんからのわらべうたとかんたん工作 → 申込 11/12(金)～
(0～未就園児と保護者向け 定員各回4組)
①午前10:30～10:55 ②午前11:10～11:35
- 11/27(土) 「ころころたまご」のおはなし会 → 申込 11/13(土)～
ちょっとスペシャルなおはなし会 (幼児～小学生向け 定員8人)
午前10:30～10:50
- 11/27(土) 耳で楽しむおはなし会“きくきく” → 申込 11/13(土)～
語りによるおはなし会 (5歳～大人・定員10人)
午前11:10～11:30



※申込はすべて9:30～です

読書の秋、みんなでおはなし
楽しもう！
くわしくは館内チラシを
ご覧ください。



発行：名古屋市山田図書館

〒452-0815

名古屋市西区八筋町358-2

電話 052-503-5340

ファクシミリ 052-503-5341

古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



みんなのしおり

第102号 秋風さわやか、よい季節♪号

巻頭エッセイ

本を読む理由

みなさんはなぜ本(ここでは主に物語)を読みますか。
親や先生に勧められたから、読書感想文を書くため、等々、いろいろな理由や動機があると思います。
私は子どもの頃から長い間、自分から進んで読んだことも、読書を楽しんだことも多くありませんでした。数少ない読書の中で、読んで楽しい物語に出会ったことがなかったのです。
その後、学校の先生に紹介された本がきっかけで、本の世界の楽しさを知ったのですが、物語を読む理由や楽しさについて、印象に残っている一節をご紹介します。

出版社の編集者と清掃員の会話

編集者「(その小説が)大嫌いなのに、どうして読んでしまったのかね、ジルシー？」
清掃員「ほかの本を読むのと理由は同じさ——次がどうなるか、知りたいからだよ」

(中略)

編集者「すると、きみは次がどうなるか知りたくて本を読むわけだね？」
清掃員「ほかに本を読む理由なんて、ないのどちがうっけ？」
(『ガープの世界』ジョン・アーヴィング／著、筒井正明／訳、昭和63年、新潮社)

他に難しいことはなにもありません。私は、これが物語を読むことの原点だと思います。

とはいっても時には、読書感想文を書くために物語を読むこともあるでしょう。この夏、中日新聞に読書感想文の書き方が紹介されていました。図書館では過去の新聞も保存しています。来年の夏に備えたい方はご参考ください。

中日新聞 2021年7月26日 朝刊「中日春秋」 【司書 中尾】

★展示紹介★

今回は図書館に関する本を展示します。
小説、漫画、絵本に写真集…。
意外とたくさんありますよ。



世界の不思議な図書館

アレックス・ジョンソン／著
創元社 010

本があればそこは図書館。動物が運ぶ図書館、冷蔵庫や電話ボックスの図書館。眺めるだけでも楽しい図書館たち。(タイトルコード:1001610005547)

おさがしの本は

門井慶喜／著 光文社 小説

わずかなヒントから本を探し出す謎解きに、図書館の存廃論が絡みます。図書館はある？いない？(タイトルコード:1000910035560)

併せて募集中…新情報、求ム！！

レファレンスサービスをご存じですか？

図書館にある資料などを使って、調べものや資料・情報探しのお手伝いをするサービスです。

今回の展示では、山田図書館に寄せられたレファレンスについてご紹介します。中には、未解決になっている調べものもあります。「この情報なら、この本に載ってるよ！」との情報をご提供いただいた方に、記念品を進呈いたします！！

未解決事例

八筋町の町名の由来を知りたいです。8本の道が通じていたからというのは本当ですか。



どなたか
ご存じ
ですか～？

山田図書館の

この本棚にこんな本！



本棚の間をウロウロしてみると…思いがけない面白そうな本に出会えます。今回は請求記号(ラベルの番号)388「伝説 民話 ことわざ」の本棚で見つけた、面白そうな本をご紹介します。



★ゆる妖怪カタログ

妖怪文化研究会／著 河出書房新社 3881

388と言えば、妖怪の本がたくさん並んでいますが、中でも面白そうなのがこの本。味のあるゆかいな妖怪たちに会ってみたくになります。ブックデザインも良いです。(タイトルコード:1001510041467)

★あなたが怪

大田垣晴子／著 メディアファクトリー 3881

大田垣さんが描く妖怪はどこかユーモラス。それよりこわいのは…。いるいる、妖怪みたいなこんな「ヒト」。妖怪事典でもあり、リアルにこわい「ヒト」という姿の“怪”事典でもあり。(タイトルコード:1001210062295)



★小さいおじさん

山口敏太郎／文 東邦出版 3881

妖怪？それとも妖精？日本中で相次ぐ(?)「小さいおじさん」の目撃談と、オカルト研究家である著者による分析。その存在を信じるも信じないも、あなた次第です。

(タイトルコード:1001210011992)